

【眼瞼下垂とは】

◎老化やコンタクトレンズの長期使用などが原因で、まぶたが下がって開けにくくなる状態のことを言います。

◎以下のような症状のある方は、眼瞼下垂の可能性があるので、お気軽にご相談ください。

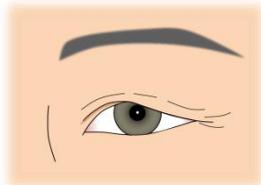
- ・まぶたが重く開けづらい
- ・額にシワが目立つようになった
- ・左右で目の大きさが違う
- ・肩こりがある
- ・視野が狭くなった
- ・昔に比べ目が小さくなった気がする
- ・偏頭痛がある
- ・上まぶたが凹んでいる
- ・眼精疲労が強い

◎「老化だからしかたがない」と、あきらめる必要はありません。
手術によって治療することができます。
手術方法は下垂の原因によって大きく2通りに分かれますが、両方同時に行うこともあります。

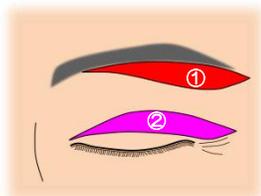
※麻酔は局所麻酔で、基本的に日帰り手術となりますが、ご不安な場合は入院も可能です。
※美容目的でなければ、健康保険が適用されます。
詳しい費用に関しては医師にお尋ねください。

【手術方法】

①皮膚がたるんでいる場合

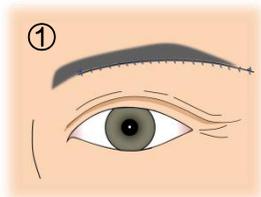


まぶたを開く機能は正常ですが、たるんだ皮膚が前に覆いかぶさって視野を塞いでいる状態です。視野を確保するために眉毛を上へ挙げる傾向があります。

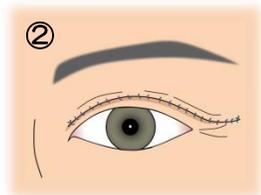


局所麻酔注射後に、たるんだ皮膚を切除します。

切除の方法は2通りあります。
①眉毛下の皮膚を切除する方法
②まぶたの皮膚を切除する方法



①眉毛下の皮膚を切除する方法
まぶたの皮膚に手を加えないため、より自然な二重になります。



②まぶたの皮膚を切除する方法
二重のラインをある程度自由に決められます。
皮膚の切除量が多い場合や、皮膚が厚い場合は、やや不自然な仕上がりがとなることがあります。



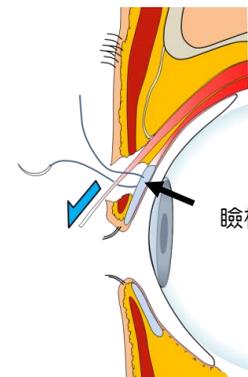
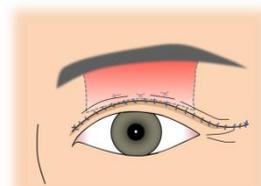
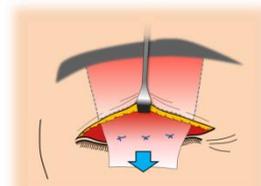
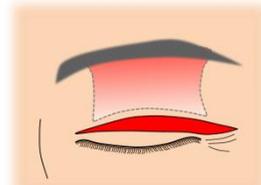
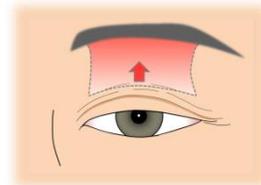
【術前】



【術後】

②まぶたの筋肉がゆるんでいる場合

上まぶたを挙上する筋肉（眼瞼挙筋）の一部がゆるんで、十分に目を開くことができない状態です。この場合も視野を確保するために、眉毛を挙げる傾向があります。



局所麻酔の注射後、二重のラインを切開し、ゆるんだ筋肉の一部を引っ張り出して、まぶたの瞼板という組織に縫合します。皮膚が余る場合には皮膚の切除も行います。

体を起こした状態で、十分に目が開くことを確認後、皮膚縫合して手術終了です。
術後は楽に目を開けることが可能となり、眉毛も本来の位置に下がってきます。



【術前】



【術後】